

2022年5月吉日

企業の皆さまへ

## 事業趣意書（ご協賛または広告掲載のお願い）

謹啓

貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会（REHSE（<http://www.rehse2007.com/>））の活動に関しまして、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

私ども REHSE では、「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」を 2013 年より実施しております。本事業は、成人前の早い時期に、モチベーションの高い公衆の構成員（高校生）が自主的に環境安全やリスクに関して研究し、彼ら自らの言葉で意見発信する機会を提供したい、その活動を産学連携の形態で支援したい、を趣旨とする活動です。また、研究活動を実施する高校生の支援のみならず、彼らを現場で指導し、直接的なサポートをされる高等学校等の先生方への教育活動支援（技術支援、情報提供等）も視野に入れております。

下記が本事業（2022 年度）の概要となります。本趣旨をご理解いただくとともに、新型コロナウイルスの影響で通常の学生生活を送っていない全国の高校生たちの研究活動をご支援いただくためにも、御社の CSR 活動の一環として、是非本事業へのご参画を賜りたく、ここにお願いを申し上げます。

謹白

特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会  
理事長 大島義人

記

### 事業概要

#### 1. 事業名称

2022 年度「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」

(<http://www.rehse2007.com/KoukouseiShien2022.html>)

#### 2. 趣旨

義務教育を終え、自主的に思考し各々の意見を発信することができるレベルにある高校生が、身のまわりの環境安全やさまざまなリスクを自身の問題として捉え考えるための研究活動を支援します。具体的には、高校生自らが環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め、調査等の研究成果を報告書としてまとめ、発表し、相互に意見交換する活動を支援します。

3. 主催：特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会（REHSE）

4. 共催：公益社団法人 日本化学会

#### 5. 事業の概要

研究のテーマとして、「化学物質」「生物・バイオ」「環境」「その他」のキーワードが設定されています。それぞれのキーワードで、利用、安全、リスク、管理等に関する研究テーマを高校生自身が設定し、高校生3名以上のチームによる主体的な研究活動として取り組んでいただきます。

REHSEは、高校生の研究活動に活動支援金（審査により支援額を決定）を支給し、REHSE会員（学識経験者）が研究活動を支援します。活動支援金は、書籍購入、施設見学に伴う旅費、専門家へのヒアリングや出前講義の実施などに伴う旅費や謝金、消耗品購入、印刷代、通信費等に使うことができます。

研究成果は、指定の様式の報告書にまとめて10月と1月に提出していただき、1月の最終審査の結果、3月に東京大学で開催される成果発表会出場校を決定します。出場校の指導教員1名と生徒若干名を招待し、発表会（公開）では最優秀賞などの表彰を行います。

スケジュール：

- 7月 参加校決定、自主研究活動を開始、第1期活動資金を支給
- 10月 中間報告書の提出、審査、第2期活動資金を支給
- 1月 最終報告書の提出  
審査会にて成果発表会招待校を選考
- 3月 成果発表会、研究施設見学会、交流会（合宿形式）

#### 6. 運営体制

REHSE会員である大学・研究所の研究者、企業の研究者、技術者が、実行委員、審査委員を務め事業を運営しています。

当事業専用の事務局を置いています。

#### 7. これまでに本事業を支援していただいた企業

三進金属工業株式会社／株式会社ダルトン／ヤマト科学株式会社／アズビル株式会社／株式会社岡村製作所／三友プラントサービス株式会社／株式会社グロービック／株式会社重松製作所／島津エス・ディー株式会社／富士電機株式会社／株式会社千代田テクノル／長瀬ランダウア株式会社／株式会社鈴木商館／日本科学技術振興財団／KCコンサルティング株式会社／株式会社日本環境調査研究所／株式会社堀場製作所／株式会社ハチオウ／株式会社島津理化／株式会社ダルトンメンテナンス

#### 8. これまでの結果

##### 2021年度最優秀賞

奈良女子大学附属中等教育学校（奈良県）

「アンモニアの燃焼反応に関する研究」

2020 年度最優秀賞

奈良女子大学附属中等教育学校（奈良県）  
「植物質素材を用いた水中の重金属除去法の開発」

2019 年度最優秀賞

石川工業高等専門学校（石川県）  
「河北潟干拓地のバイオマス賦存量」

2018 年度最優秀賞

エクセラン高等学校（長野県）  
「自然生態系の中での放射性セシウムの循環について」  
～森林の地下部の放射性セシウムに注目して～

奈良女子大学附属中等教育学校（奈良県）  
「食物繊維による着色料の吸収阻害に関する研究」

2017 年度最優秀賞

奈良女子大学附属中等教育学校（奈良県）  
「大気中の化学汚染物質測定法の開発」

2016 年度最優秀賞

埼玉県立不動岡高等学校（埼玉県）  
「会の川 環境・水質調査」

2015 年度最優秀賞

エクセラン高等学校（長野県）  
「福島原発事故以降、長野県での放射能の影響」  
－なぜ野生きのこ・山菜・野生動物肉について放射線が検出されるのか？－

2014 年度最優秀賞

麻布高等学校（東京都）  
「雨水が河川水となるまでの過程についての研究」

2013 年度最優秀賞

八戸工業大学第二高等学校（青森県）  
「放射線を利用した発電は可能か」

特定非営利活動法人 研究実験施設・環境安全教育研究会  
理事長 大島 義人

【連絡窓口】 事業事務局：〒277-8563 柏市柏の葉 5-1-5 東京大学 環境棟 468 号室  
(E-mail) koukousei@rehse2007.com (TEL) 080-4383-2007